



山口 裕一郎(やまぐち・ゆういちろう)氏
静岡がんセンター内視鏡科医師
1993年北里大学医学部卒業、同大学
外科医局消化器病センター、内視鏡セン
ターなどを経て2002年より現職。日本外
科学会認定医。日本消化器内視鏡学会専
門医。専門は大腸内視鏡診断ならびに治
療。

増えている大腸がん
これまで大腸がんといっ
と、欧米諸国に多いといっ
たイメージがありましたが、近年、
欧米ではむしろ大腸がんによる
死亡率は徐々に減りつつあり、
逆に日本では非常に増えてきて
います。

これまでにがんの種類で見て
ようにしてください。
小腸から大腸に流れてくる

大腸がんの早期発見

静岡県立静岡がんセンター
内視鏡科 医師
山口 裕一郎氏

日本人の病気による死亡原
因の年代別推移を見ると、19
80年代に入ってからがんは死亡原
因のトップとなっていますが、

は、全がんの種類の中で男女と
も大腸がんにかかる率がトップ
になるとの予測も出ていて、そ
の便になっていくわけですが、そ
の始まり部分にあたる右側の大
腸では、便がまだ軟らかいため
に、便によって大腸がんに気付
くといった症状がなかなか出
てきません。この部分では、む
しろがんが大きくなって、その
らから出血するか、がんそのも
のを外から触れるよう
になって自覚するといった腫瘍

触知(しゅりゅうしよくち)症
加していることがわ
かります。
大腸がんにかか
る人は大体40代ぐら
いから増え始め、高
齢になるほどその割
合が高くなる傾向が
あります。ですの
で、40歳ぐらいに
なったら大腸がんに
ついては、自覚症状が非
常に現れにくいのが大腸がんの
一番怖い特長で、発見のために、
予防的に検診を受けて積極的に
自分の体に大腸がんがないかを
確かめていくことが大事です。

視鏡といつたいわゆる「拾い上
げ検査」が行われています。
まずは便潜血反応検査。こ
れは、腫瘍からじみ出した血液
を特殊な試薬で反応させて調べ
る検査です。この検査を毎年受
けると、大腸がんによって死亡
するリスクを約3割、1年置き
に受診すると15~21%程度減ら
すことができます。企業の検
査、市の保健所などでも受けら
れ、何の痛みも伴わない非常に
簡単に便利な検査です。ただ、
この方法では早期のがんを見つ
けることは難しく、なにもない
のに陽性になる場合も多いこと
などが欠点です。

注腸造影検査はレントゲン
の検査です。お尻からバリウム
を入れて空気をそのあとに入れ
て撮るので、あまり難しい技術
などは必要ありません。ただ、
内視鏡の検査と比べると大腸が
んの発見率が低いこと、放射線
を浴びること、何か見つかって
も、それを特定するために、結
局は内視鏡検査をやらなければ
ならないことなどから、年々検
査件数は減っています。
大腸の内視鏡検査の利点



大腸がんというものは、早期
の発見、治療ができれば、肝臓
がん、肺がん、胃がんなどと比
べると予後の良いがんと言えま
す。発見の早いものほど体の負
担が少ない検査、治療が済ませ
ることができ、反対にがんの進
行具合、範囲が広がってくる

がんを学ぶ ~予防と検診から~

静岡県立静岡がんセンター公開講座第5弾「がんを学ぶ
~予防と検診から~」(静岡新聞社・静岡放送、三島市民文
化会館主催、県立静岡がんセンター共催、スルガ銀行特別
協賛)の第2回講座が10月18日、三島市民文化会館で開か
れ、山口裕一郎内視鏡科医師と、福田博之神経内科医師が、
大腸がんの早期発見とその予防、がんとしびれの関係につい
て講演しました。その概要をお伝えします。

〈企画・制作/静岡新聞社営業局〉

代表的な抗がん剤である「シ
スプラチン」や「パラプラチン」
といった薬には、指輪やネック

なが、脊髄の近くにある神経節
に蓄積され、しびれを引き起
す原因となります。また、プラ
チンを含んでいない抗がん剤
は、薬そのものが末梢神経の働
きを障害することが原因と考え
られています。卵巣がんや肺が
ん、その他のがん治療に広く使
われている「タキソール」、あ
るいは「タキソテール」や、白
血病やリンパ腫、子供の腫瘍な
どに使われている「オンコピ
ン」なども、しびれを起こす確

原因となることもあります。
がんが脊髄を圧迫すると、
下半身にしびれが起ったり、下
半身全体の感覚が鈍くなり尿や
便が出にくくなる場合があります。
症状が進行すると、下半身
がまひして座ることもできなく
なり、寝たきりになったり、床
ずれができることもあります。
がんによる脊髄圧迫という
のは、症状が2、3日で進行す
るので非常に緊急を要します。
手術、放射線治療、あるいはス

治療やがんそのものに伴っ
て起るしびれに対しては、自
分だけで対策を講じるのは難し
い面もありますが、それ以外の
しびれについては、普段の生活
の中でも予防や改善に努めるこ
とが可能です。
まず、栄養をきちんと取り、
体重が落ちないようにすること
と、普段から運動して、体力を
つけておくこと。当り前のこと
ですが、がんとしびれが起って
いくためには普段から規則正
しい生活を送ることが一番大切
です。

がんとしびれ

静岡県立静岡がんセンター
神経内科 医師
福田 博之氏

がんとしびれには、
①がんの治療に伴うしびれ
②がんそのものに伴うしびれ
③がんとは直接関係がなく、
体全体の異常によるしびれ
の三つがあります。

がんの治療に伴うしびれで
最も多いのが、抗がん剤による
末梢神経障害です。抗がん剤を
投与することで、体にしびれが
起ることがあります。

レスなどに使うプラチナ(白
金)が含まれています。プラチ
ナの成分ががんに対して効果が
あり、現在多くのがん治療に使
用されていますが、このプラチ

がんそのものに伴うしびれ
ですが、これはがんが神経系に
移行することで発生します。例
えば、脳や脊髄、への転移です。
背骨にがんが転移して、そこで
大きくなる、背骨の中を走っ
ている脊髄などを圧迫し、急に
下半身にしびれが起こります。

がんにかかるときさまさまな
原因により、体重が減ります。
体重が減るとこれまでクッション
となっていた皮下脂肪が減る
ので、体の浅いところを走って
いる神経が自分の骨や外的障害
物に圧迫されやすくなり、これ
がしびれの原因となることがあ

これらのはしびれに対する予
防法としては、腓骨神経がなる
べく圧迫されないような生活を
することが必要です。長時間同
じ姿勢をとらない。どうしても
同じ姿勢でいるようなことが多
い場合には、ひざの外側にクッ
ションを置いて、腓骨神経が圧
迫されないようにします。ま
た、歩く際に、装具をつけるこ
とで、動きやすくなる場合があります。
しびれの症状は数週間改
善されることも多くあります。

治療やがんそのものに伴っ
て起るしびれに対しては、自
分だけで対策を講じるのは難し
い面もありますが、それ以外の
しびれについては、普段の生活
の中でも予防や改善に努めるこ
とが可能です。
まず、栄養をきちんと取り、
体重が落ちないようにすること
と、普段から運動して、体力を
つけておくこと。当り前のこと
ですが、がんとしびれが起って
いくためには普段から規則正
しい生活を送ることが一番大切
です。



福田 博之(ふくだ・ひろゆき)氏
静岡がんセンター神経内科医師
1984年鹿児島大学医学部卒業後、聖路加
国際病院内科で臨床研修。1988年Dr.Nor-
risのもとで神経内科を学び、総合内科専門
医、神経内科専門医として従事。2002年から
静岡がんセンターで神経内科医、栄養サ
ポートチームの一員として活動。

がんそのものに伴うしびれ
ですが、これはがんが神経系に
移行することで発生します。例
えば、脳や脊髄、への転移です。
背骨にがんが転移して、そこで
大きくなる、背骨の中を走っ
ている脊髄などを圧迫し、急に
下半身にしびれが起こります。

がんにかかるときさまさまな
原因により、体重が減ります。
体重が減るとこれまでクッション
となっていた皮下脂肪が減る
ので、体の浅いところを走って
いる神経が自分の骨や外的障害
物に圧迫されやすくなり、これ
がしびれの原因となることがあ

治療やがんそのものに伴っ
て起るしびれに対しては、自
分だけで対策を講じるのは難し
い面もありますが、それ以外の
しびれについては、普段の生活
の中でも予防や改善に努めるこ
とが可能です。
まず、栄養をきちんと取り、
体重が落ちないようにすること
と、普段から運動して、体力を
つけておくこと。当り前のこと
ですが、がんとしびれが起って
いくためには普段から規則正
しい生活を送ることが一番大切
です。

治療やがんそのものに伴っ
て起るしびれに対しては、自
分だけで対策を講じるのは難し
い面もありますが、それ以外の
しびれについては、普段の生活
の中でも予防や改善に努めるこ
とが可能です。
まず、栄養をきちんと取り、
体重が落ちないようにすること
と、普段から運動して、体力を
つけておくこと。当り前のこと
ですが、がんとしびれが起って
いくためには普段から規則正
しい生活を送ることが一番大切
です。

治療やがんそのものに伴っ
て起るしびれに対しては、自
分だけで対策を講じるのは難し
い面もありますが、それ以外の
しびれについては、普段の生活
の中でも予防や改善に努めるこ
とが可能です。
まず、栄養をきちんと取り、
体重が落ちないようにすること
と、普段から運動して、体力を
つけておくこと。当り前のこと
ですが、がんとしびれが起って
いくためには普段から規則正
しい生活を送ることが一番大切
です。

◆質疑応答◆

質問
質山

大腸内視鏡検査を苦痛なく受けたい。
大腸は洗濯機の蛇腹のホース様で、縦方向に引き伸ばされ
ると痛みを感じやすい臓器です。過去におなかの手術を受
け、大腸が癒着している場合、腸が長い方などは内視鏡
を奥に進める際に痛みが伴う場合もあります。検査前
や、検査中に鎮痛剤や鎮静剤を使って痛みを和らげていま
す。患者さんの中には、下血を「痔」だと思ひ込み、がん
の発見が遅れる場合があります。出血の色だけでは判断で
きないので、速やかに内視鏡検査を受け、原因を確定して
もらって下さい。

質問
質福

体重が落ちた患者の世話をすることに注意することは。
がんにより皮下脂肪が減ると、これまでと同じ姿勢でも神
経を刺激し、しびれや痛みを引き起こします。まず、栄養
を摂取させる努力をしてください。それでも、いつもの寝
相、使い慣れた布団、イスなどが思わぬ刺激の原因に変わ
ります。より軟らかいものに交換する、クッションを追加
するほか、意識して、姿勢を変えるなどして、刺激から保
護することが重要です。

※事前や当日寄せられた質問を中心に山口建
総長を交えて質疑応答が行われました。
紙面の都合により本講座の内容に即した質
問事項をまとめました。